



高崎市吉井町神保の仁叟寺(渡辺啓司住職)で、コヒガンザクラ「五輪桜」が満開を迎えている＝写真。高さ13メートルほどの大木で、ボランティアが年間通して手入れしている。渡辺住職によると、今月末ごろまで楽しめそうだ。近くに住む矢嶋巖さん(74)と加藤壮士さん(70)を中心に、化学肥料を使わず、落ち葉の

「五輪桜」早咲き

高崎・吉井の仁叟寺

堆肥で育てている。2人は「町で1番早く咲いてくれた。満開のうちに見に来て」と話している。

同寺は室町時代の1522年に創建。五輪桜は寺の三大名木の一つで、地中から5本の幹が輪のように伸びていることから名付けられた。

「五輪桜」早咲き 高崎・吉井の仁叟寺

高崎市吉井町神保の仁叟寺(渡辺啓司住職)で、コヒガンザクラ「五輪桜」が満開を迎えている。高さ13メートルほどの大木で、ボランティアが年間通して手入れしている。渡辺住職によると、今月末まで楽しめそうだ。

近くに住む矢嶋巖さん(74)と加藤壮士さん(70)を中心に化学肥料を使わず、落ち葉の堆肥で育てている。2人は「町で1番早く咲いてくれた。満開のうちに見に来て。」と話している。

同寺は室町時代の1522年に創建。五輪桜は寺の三大名木の一つで、地中から5本の幹が輪のように伸びていることから名付けられた。